



会社説明会資料

2026年

証券コード : 2009

当社HP URL : <https://www.the-torigoe.co.jp/>

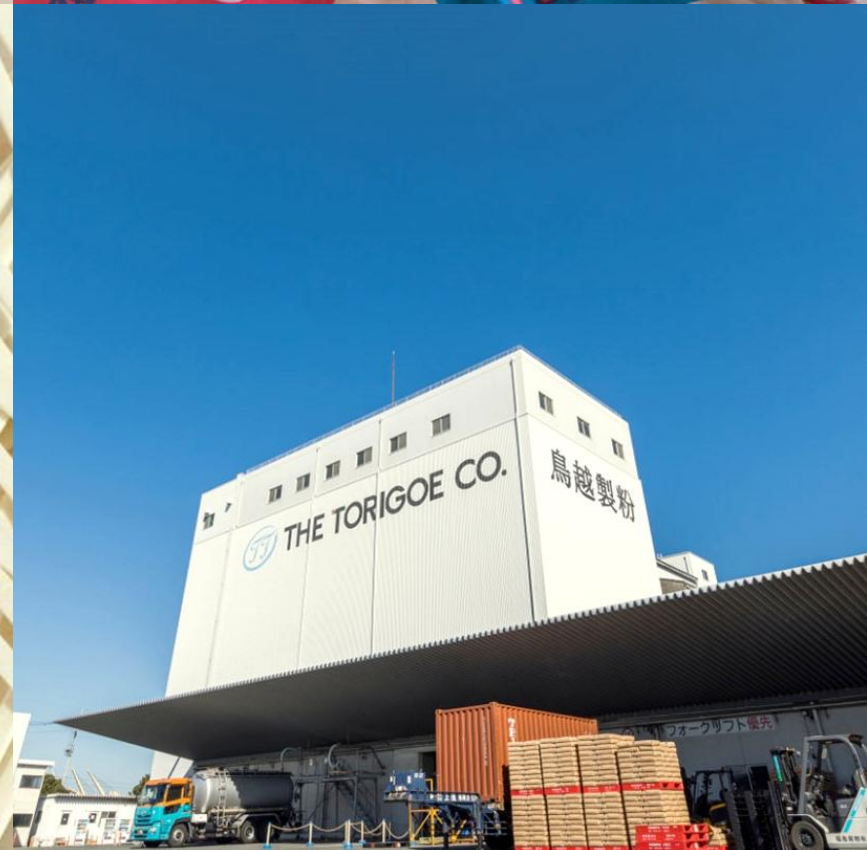




SLOGAN

Tasty,
Healthy,
Economical + Ecological

おいしく、健康によく、
お得で地球環境にやさしい。



INDEX 目次

- 01 会社概要
 - 02 事業紹介
 - 03 中期経営計画
 - 04 資本コストや株価を意識した経営
 - 05 株主還元
-

01 会社概要

02 事業紹介

03 中期経営計画

04 資本コストや株価を意識した経営

05 株主還元

会社概要

会社名

鳥越製粉株式会社
(THE TORIGOE CO.,LTD.)

本社

〒812-0014
福岡県福岡市博多区比恵町5-1
Tel:092-477-7110

代表

代表取締役会長兼社長 鳥越徹

創業 設立

1877年（明治10年）10月
1935年（昭和10年）12月

資本金

2,805百万円

主な生産品/ 取扱品

小麦粉、プレミックス、ふすま、ライ麦粉、
丸麦、押麦、糠、食品改良・日持向上剤、冷凍食品、
製菓・製パン用原材料

従業員数

354名（連結、2025年12月31日現在）

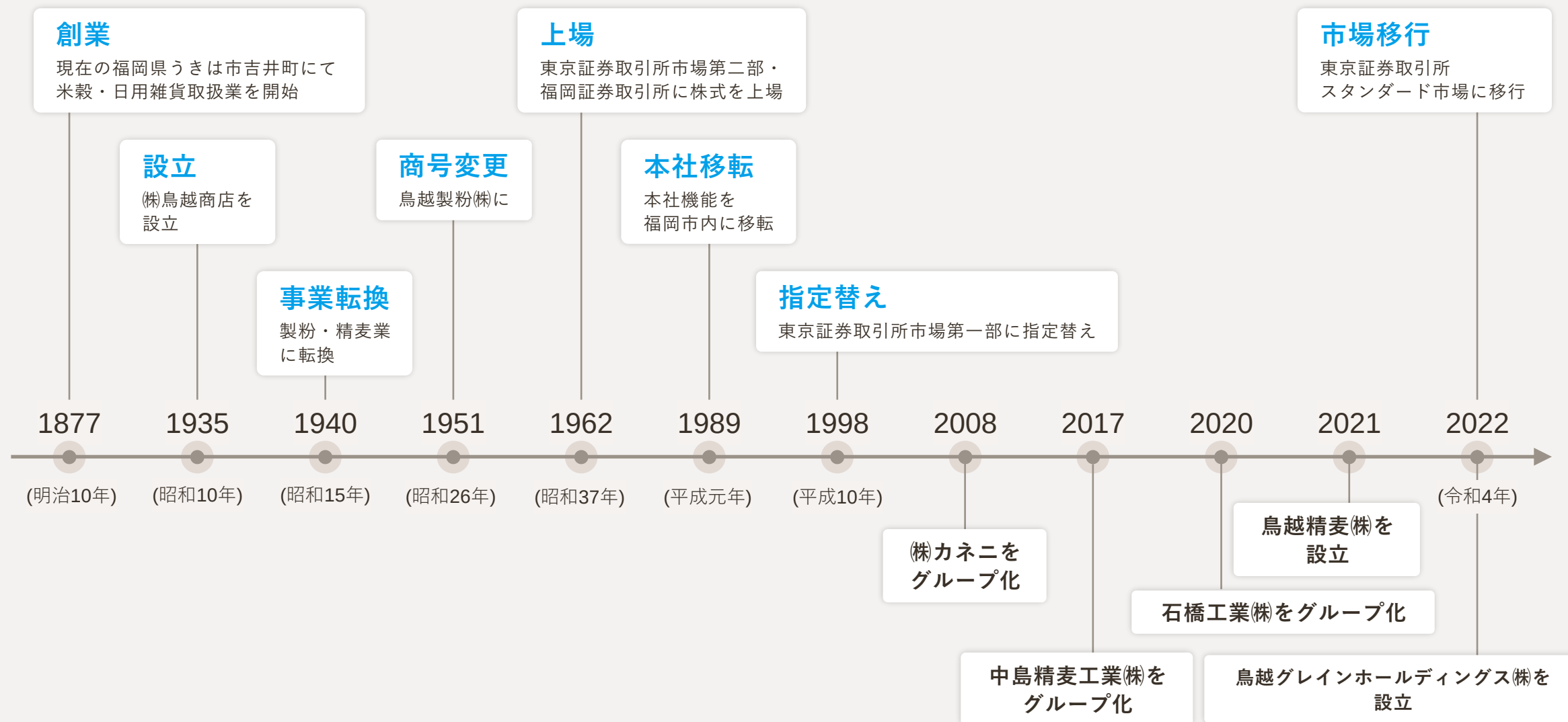




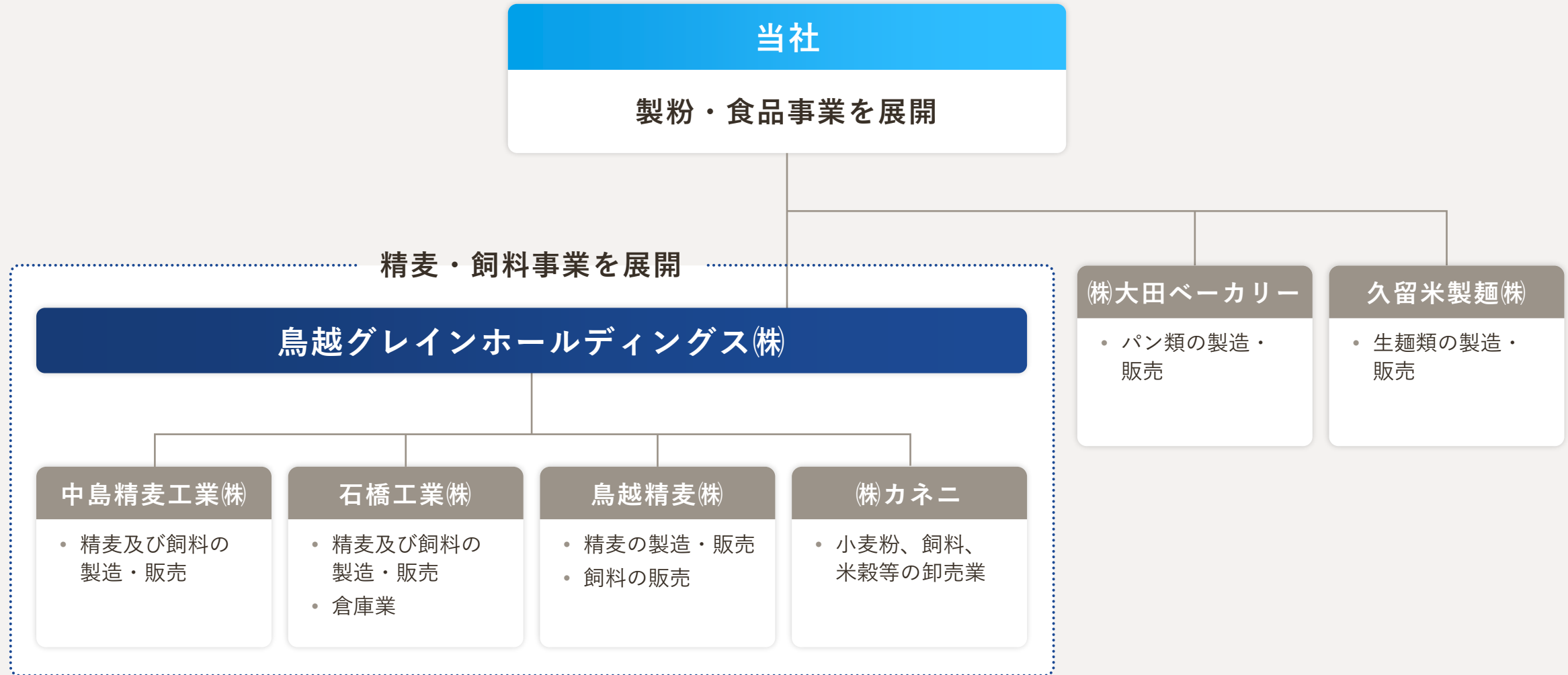
沿革

当社

グループ会社

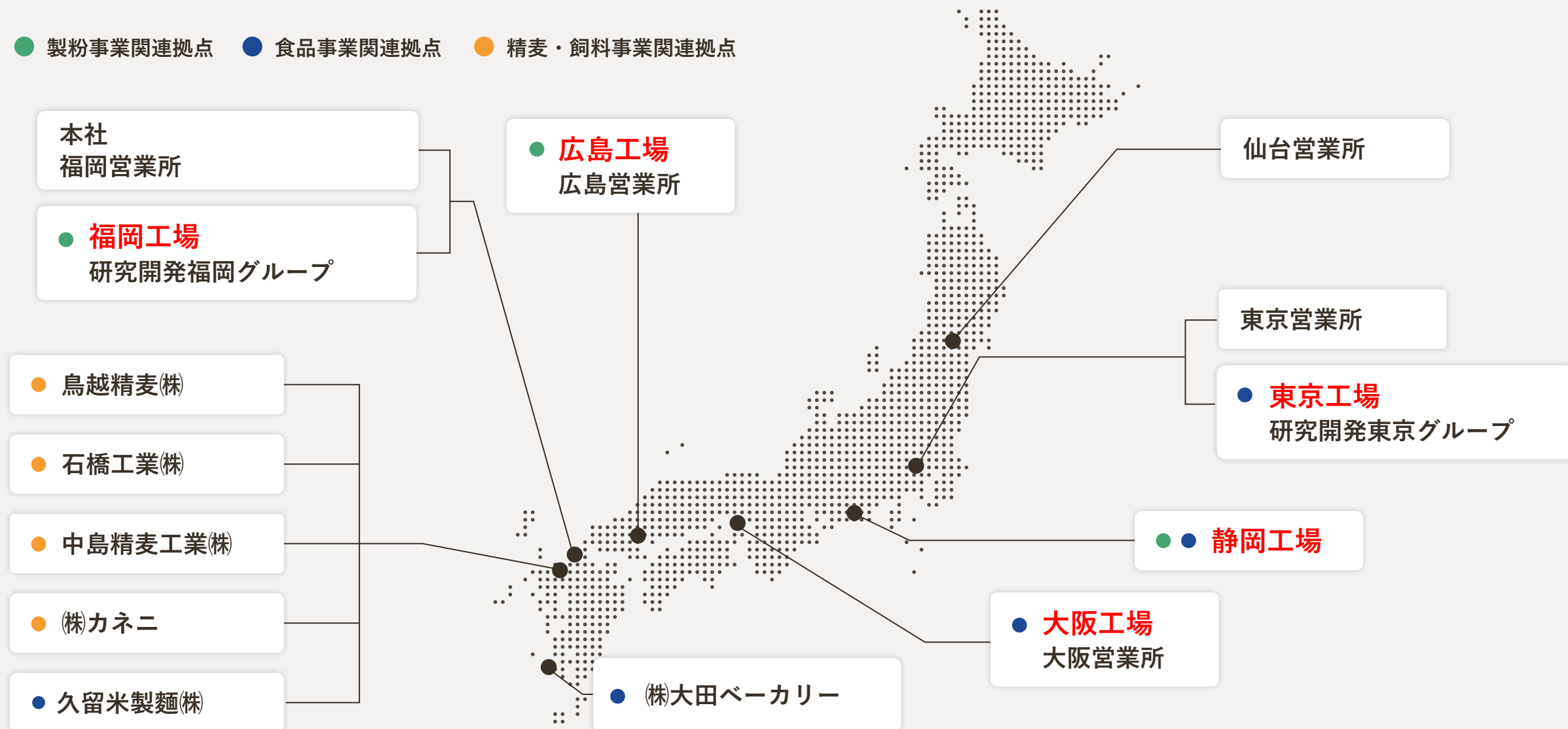


グループ構成



グループ国内事業所

● 製粉事業関連拠点 ● 食品事業関連拠点 ● 精麦・飼料事業関連拠点



企業理念

企業理念

— 1997年制定 —

企業活動を通じて、当社を支えて頂いている
全ての人に豊かさと夢をもたらし、
地域社会、日本そして世界の人々の
生活文化の向上に貢献し、

世の中になくはない企業になる。

創業精神

- 得意先の繁栄をもって我社の繁栄とする
- 使う身で作ったトリゴエの製品



INDEX 目次

01 会社概要

02 事業紹介

03 中期経営計画

04 資本コストや株価を意識した経営

05 株主還元

当社の強み

研究開発型企業のDNA

高度な技術を獲得

① 穀物関連の3事業を展開

当社は、小麦だけではなく
大麦も取り扱う唯一の企業

製粉

穀物を粉にする

+

ミックス

粉体を混合する

+

精麦

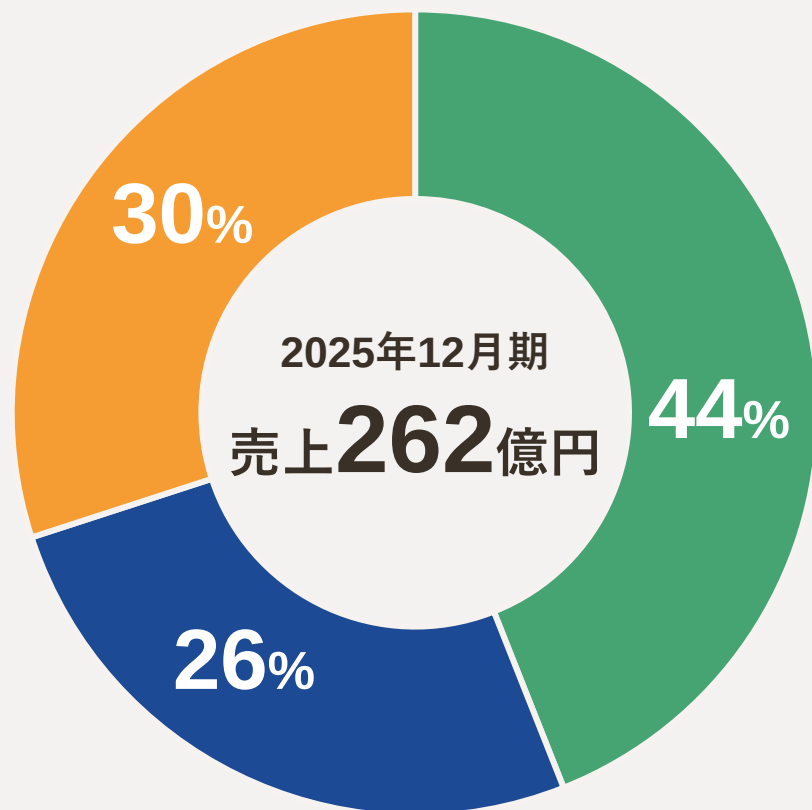
穀物を搗精する

② 素材を活用する二次加工技術

小麦粉や各種素材を最終製品
(二次加工品) へ仕上げる事が可能



グループ事業セグメント



製粉事業

116億円

- 小麦粉（パン用、めん用、菓子用）
- ライ麦粉
- ふすま など



食品事業

68億円

- ミックス（業務用・家庭用）
- 製パン・製菓用原材料
- 品質改良剤・日持向上剤（イノベイト）
- 食品素材
- 冷凍食品
- ドライイースト
- 食塩（ゲランドの塩）
- 大麦加工品 など



精麦・飼料事業

78億円

- 食用麦
- 焼酎・味噌用の原料麦 など

製粉事業（1/2 ラインナップ）

● 主要製品一覧

パン用粉



フランス印

日本で初めて開発された
フランスパン専用粉



ユーフォリア

口溶けが良く、ソフトな食
感のパンができるパン用粉

さちかおり



さちかおり

佐賀県産「さちかおり」を100%
使用したフランスパン用小麦粉



はるふわり

佐賀県産「はる風ふわり」を
100%使用したパン用小麦粉



マジカルフラワー

濃厚な味と香りをもち、口当た
りもなめらかな全粒粉

中華麺用粉



中華王



うたまろ

うどん用粉



金明竹

筑後のかおり



筑後のかおり

薄力粉



ニュースーパー
おらんだ船



ニューヴィオラ

ライ麦粉



ナチュラル



パワー

製粉事業（2/2 パン用粉）

パン用粉

製品

フランスパン専用粉を中心とした
ラインナップ

フランス印

多くのベーカリーやホテル、
レストラン等で使用されている

特徴

徹底した研究・技術追求

「フランス印」開発の経緯

着想

1959年、出張でパリを訪れた当社役員がフランスパンの美味しさに魅了され、フランスパン専用粉の製造を決意

研究

フランスにおけるパン第一人者であったレイモン・カルベル教授から直接指導を受け、研究と試作を実施

誕生

1960年、日本初のフランスパン専用粉「フランス印」が誕生。日本でも手軽に美味しいフランスパンを味わえるように



1999年2月、鳥越製粉が日本で先駆けてフランスパン専用粉「フランス印」を開発し我が国におけるフランスパンの普及発展に貢献したことが高く評価され、フランス国政府から社長山下義治に農事功労賞が授与された

食品事業 (1/3 ミックス)

ミックス

製品

数多くの独創的な
オリジナルブランド



スイート・ドゥ

ミルク風味のソフトな
菓子パンを再現



白いたい焼き

焼き色のつかない
オリジナルミックス
(特許取得)



やわらかもち ドーナツミックス

やわらかくもちもちした
食感が楽しめるミックス

特徴

顧客の要望を
「掴む力」と「叶える力」

細やかな営業活動

顧客と密にコミュニケーションを図り、ニーズをくまなく把握



高い開発力

研究開発により培った技術力と、長年の経験に基づく豊富なノウハウ



業界の多様なニーズに即応することが可能

食品事業（2/3 低糖質食品）

低糖質食品

製品

糖質を大幅にカットした 画期的なパン製品



市販の小麦粉と比較して

糖質
84%
オフ

食物繊維
8倍

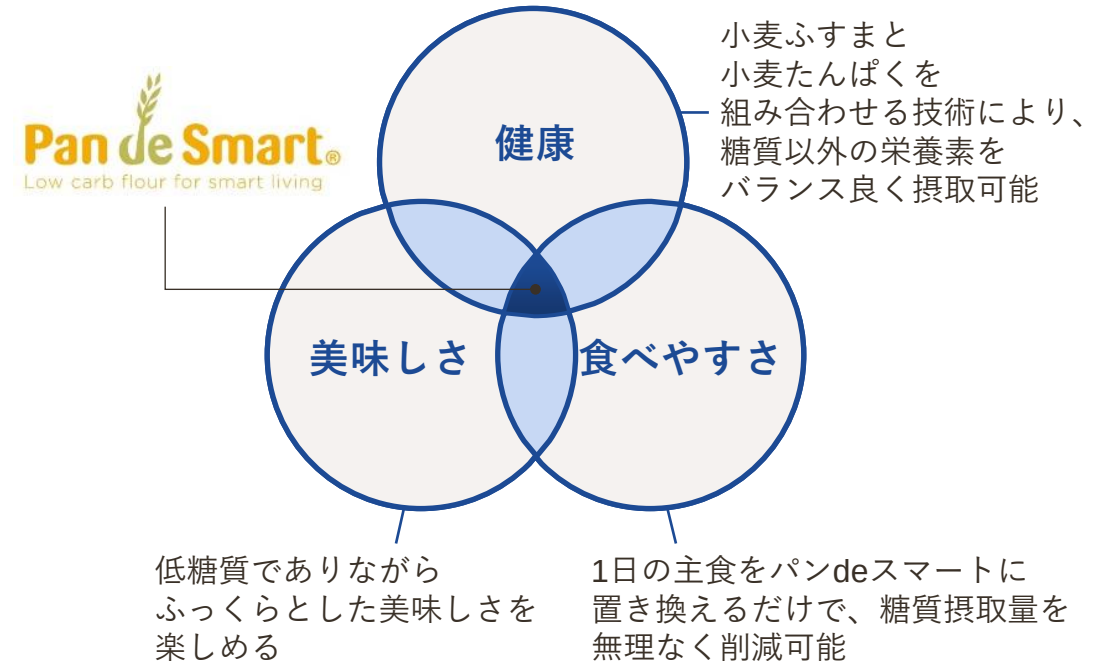
たんぱく質
3倍

パンde スマートミックス

小麦のふすま（ブラン）を利用することで大幅な糖質オフを実現

特徴

消費者の喜びに繋がる商品開発



食品事業（3/3 海外提携）



ドーン・フード・プロダクツ社 / アメリカ



プレミックス及びベーカリーマシン等の
製造販売会社



ファイバースター社 / アメリカ



機能性食品素材の製造販売会社



ウルマシュパッツ社 / ドイツ



製菓・製パン用原材料等の製造販売会社



ABマウリ社 / イギリス



イースト（酵母）の製造販売会社



精麦・飼料事業

食用麦・原料麦

製品

大麦から生まれる多彩な製品



食用麦

家庭用だけでなく、業務用としてもコンビニのおにぎりなどに使用



業界シェア
No.1

焼酎・味噌用の原料麦

麦焼酎や麦みそへ。ほぼ全ての有名な麦焼酎メーカーでご使用いただいている

特徴

グループ4社が一体となった事業運営



各社の強みや特徴を活かすことで競争力を向上

食品経営センター（1/2 経営技術総合研究会）

食品経営センターの活動の一環として、「経営技術総合研究会」を開催。顧客企業の課題解決をサポートする場として継続的に実施している

1954年(昭和29年)に第1回を開催

- パン業界の直面する様々な問題を解決するための経営技術研究会
- 得意先であるパン企業を対象とした業界初の行事となり、大いに歓迎された



食品業界全般の得意先企業を対象とした、
現在の「**経営技術総合研究会**」に発展



コロナ禍による2020年の中止以外は一度の中断もなく、
毎年開催されている



食品経営センター（2/2 活動内容）

お客様サービスの一環として「食品経営センター」を運営。座学に留まらない技術講習会をはじめ、多彩なイベントを実施

1962年(昭和37年)に「パン経営センター」を設立
(キメ細かい研究や個別相談を行うための会員制勉強会)



食品企業全般を対象とする
「食品経営センター」に改称



会員各社が常に最先端の企業であり続けられるよう、幅広く活動中



▲ パン学校



▲ 優良企業視察



INDEX 目次

01 会社概要

02 事業紹介

03 中期経営計画

04 資本コストや株価を意識した経営

05 株主還元

概要

- 名称

TTC150

Team
Torigoe
Challenge

創業**150**周年
(2027年)

- 基本方針

01 価値創出

時代の変化に対応した新しい価値を創出する

02 顧客本位

顧客本位の事業活動を強化する

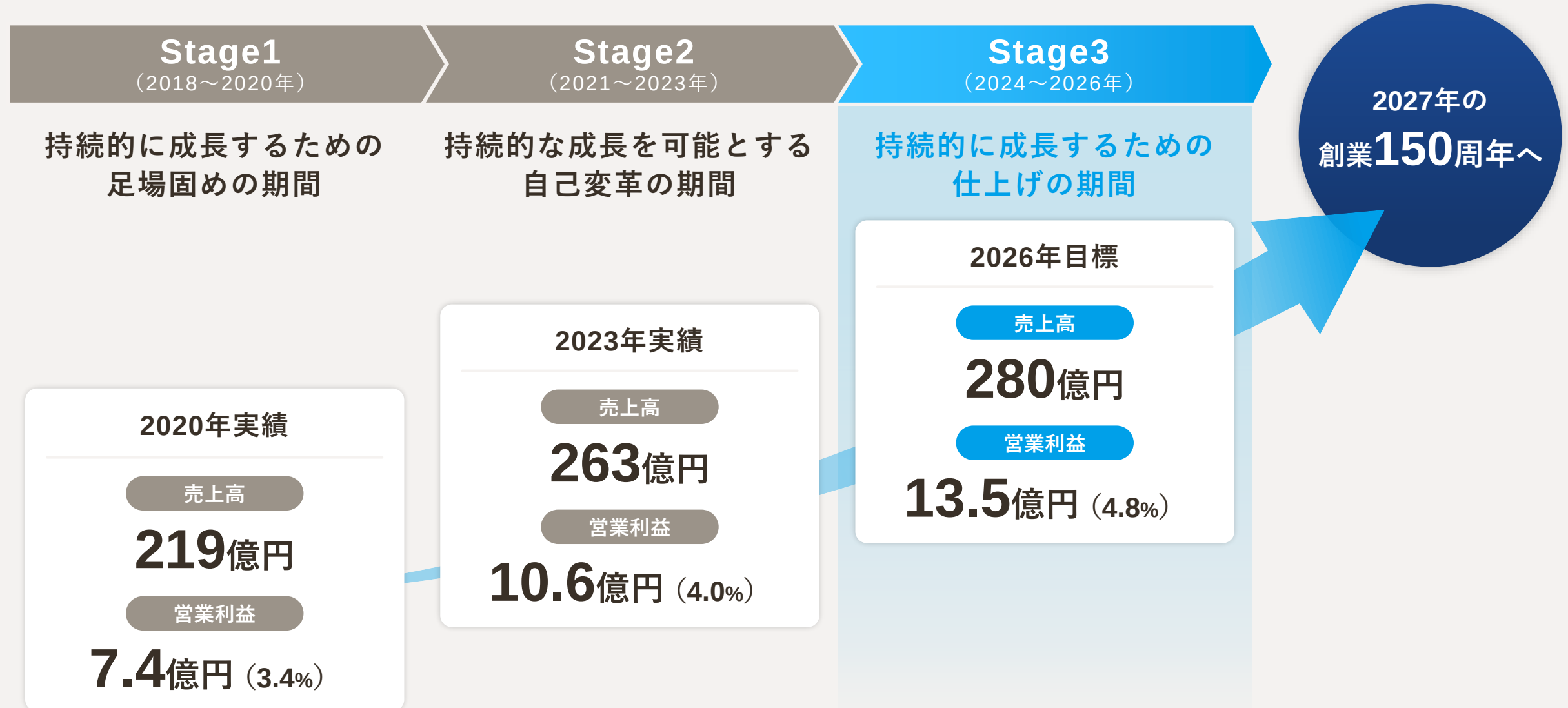
03 社員重視

社員一人ひとりが成長できる環境を整備する

04 社会貢献

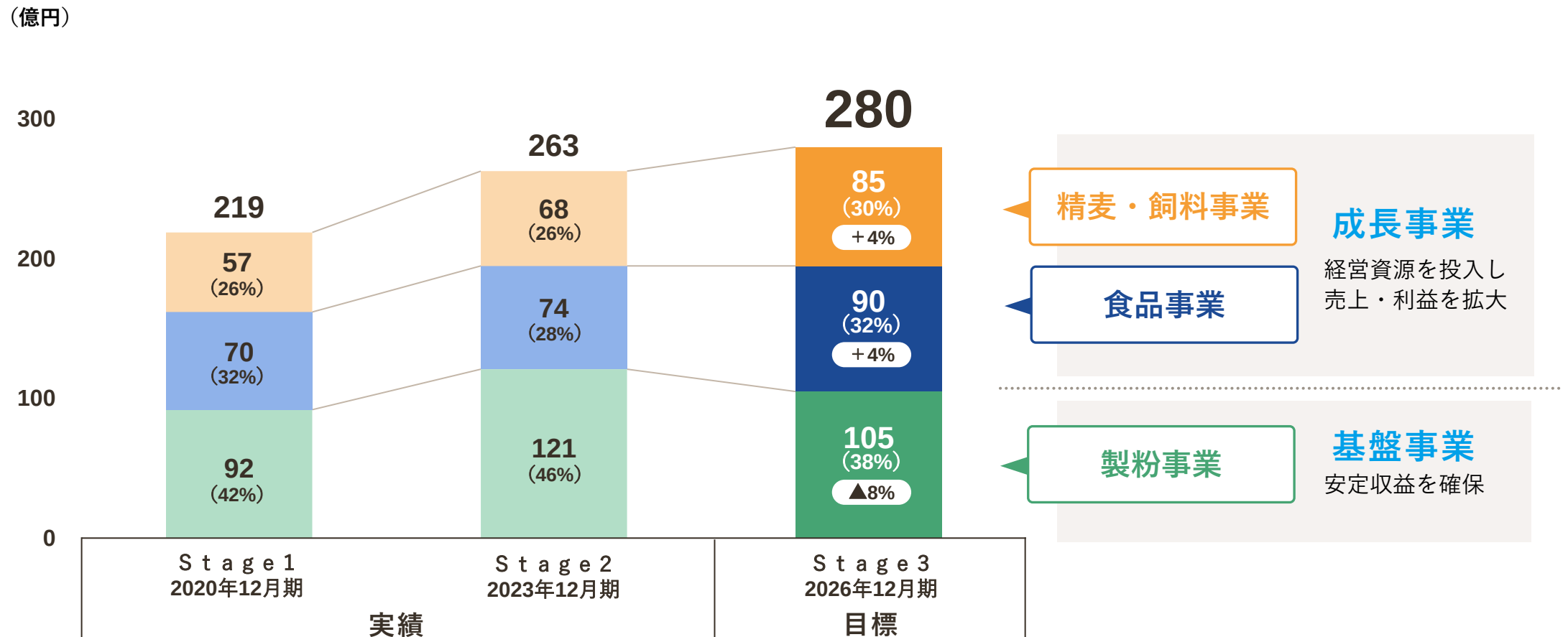
事業活動を通じて社会に貢献する

位置付けと目標値（連結）



売上構成

● 連結売上高の推移



主な取り組み

01 製粉事業

- 顧客に選ばれる製品を創出し、売上基盤をより強固にする
- 生産性や品質の向上等に繋がる設備投資を積極的に行う

02 食品事業

- 顧客ニーズを捉え、スピード重視で製品を開発し、事業の拡大を図る
- 差別化された製品の開発・製造が可能な体制を構築する

03 精麦・飼料事業

- 醸造・主食用精麦では、原料と品質にこだわり、事業の拡大を図る
- 鳥越グレインホールディングス(株)傘下の鳥越精麦(株)・石橋工業(株)・中島精麦工業(株)・(株)カネニの特徴を活かした体制を構築する

04 デジタル技術を使った企業革新

- デジタル化した事務管理体制の仕上げと定着を図り、営業全体の生産性を向上させる

05 IR強化と株主還元

- 当社グループの持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指し、株主・投資家等との建設的な対話を含めたIR活動を実施する
- 株主還元は継続的な安定配当を基本とし、配当は業績推移、当社を取り巻く経営環境、将来の事業展開等を総合的に勘案して実施する
- 配当性向は40%以上を目標とする⇒2024年～2026年において100%へ変更。

サステナブル経営の推進

重要課題		主な取り組み	主に関連するSDGs
環境 — Environment —	環境保護への取り組み	- 気候変動への対応 - 食品廃棄物の削減	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を
	安心・安全な製品の供給	- 品質保証体制の強化 - 持続可能な調達と安定供給	2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 15 陸の豊かさも守ろう
	新たな価値の創出	- 食の多様化に応える製品開発 - 環境配慮型製品の開発	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 12 つくる責任 つかう責任
	働きがいのある職場環境の整備	- 人財育成 - ダイバーシティの推進 - ワークライフバランスの促進	5 ジェンダー平等を実現しよう 8 働きがいも経済成長も
社会 — Social —	社会・地域への貢献	- 社会活動への積極支援 - 地産地消	17 パートナリシップで目標を達成しよう
	法令順守及び内部統制	- コーポレートガバナンスの強化 - コンプライアンスの徹底 - リスクマネジメントの強化	16 平和と公正をすべての人に
ガバナンス — Governance —			

地域社会への貢献活動

ラグビーチーム「ルリー口福岡」の支援

- 「ルリー口福岡」は「ジャパンラグビーリーグワン ディビジョン3」に所属し、当社創業の地である福岡県うきは市に本拠地を置く地域密着型のラグビーチーム
- 当社は地域社会の活性化や地域経済に貢献する取り組みの一環として、「ルリー口福岡」のゴールドパートナーとしてチーム発足時から支援を実施



「うきは祭り」への出展

- 当社は創業の地である福岡県うきは市で行われている「うきは祭り」へ毎年出展し、「うきは産小麦粉」を使用した手打ちうどん体験会やクッキー作り体験会などを開催



INDEX 目次

01 会社概要

02 事業紹介

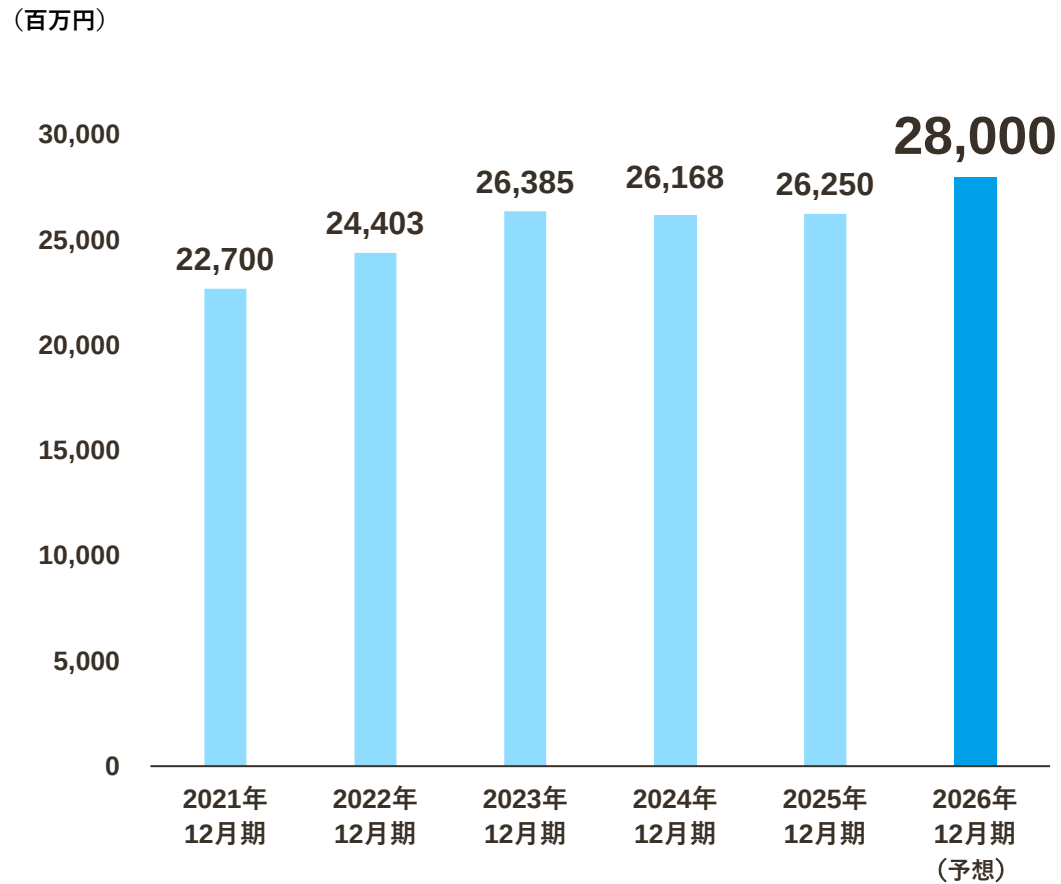
03 中期経営計画

04 資本コストや株価を意識した経営

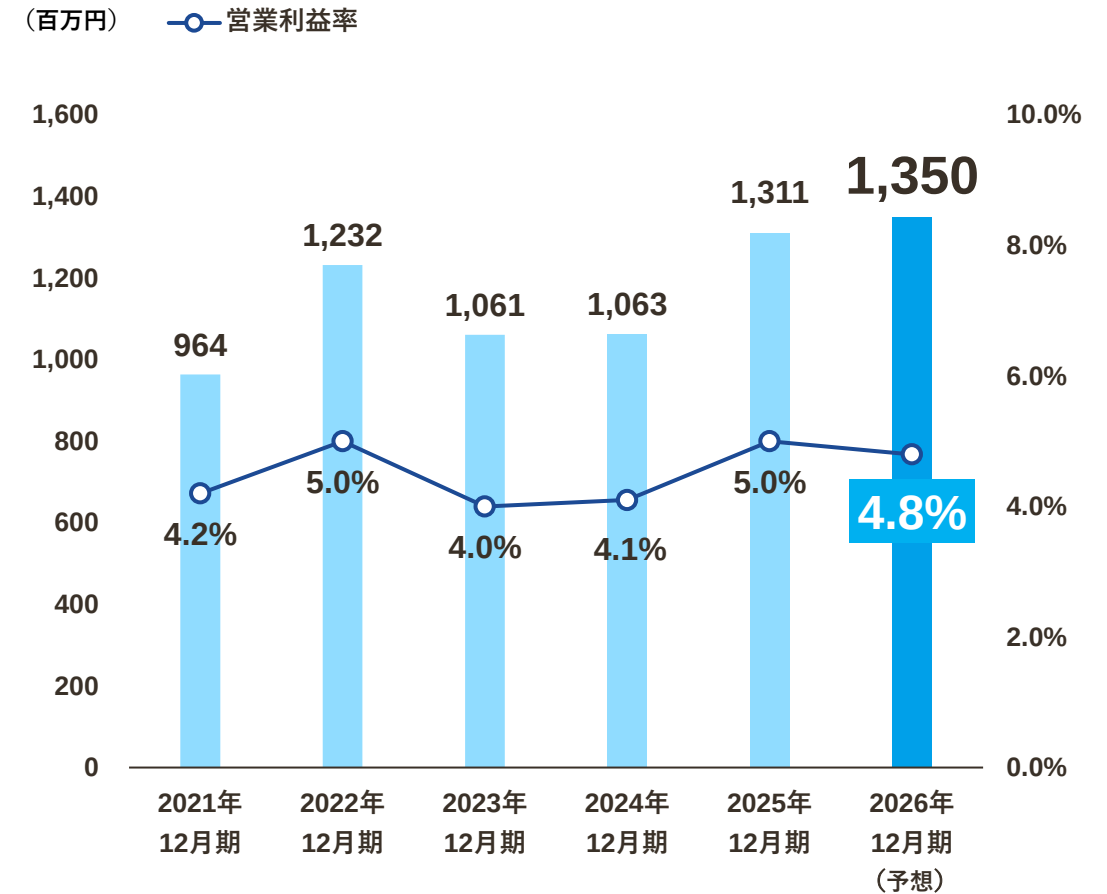
05 株主還元

業績推移

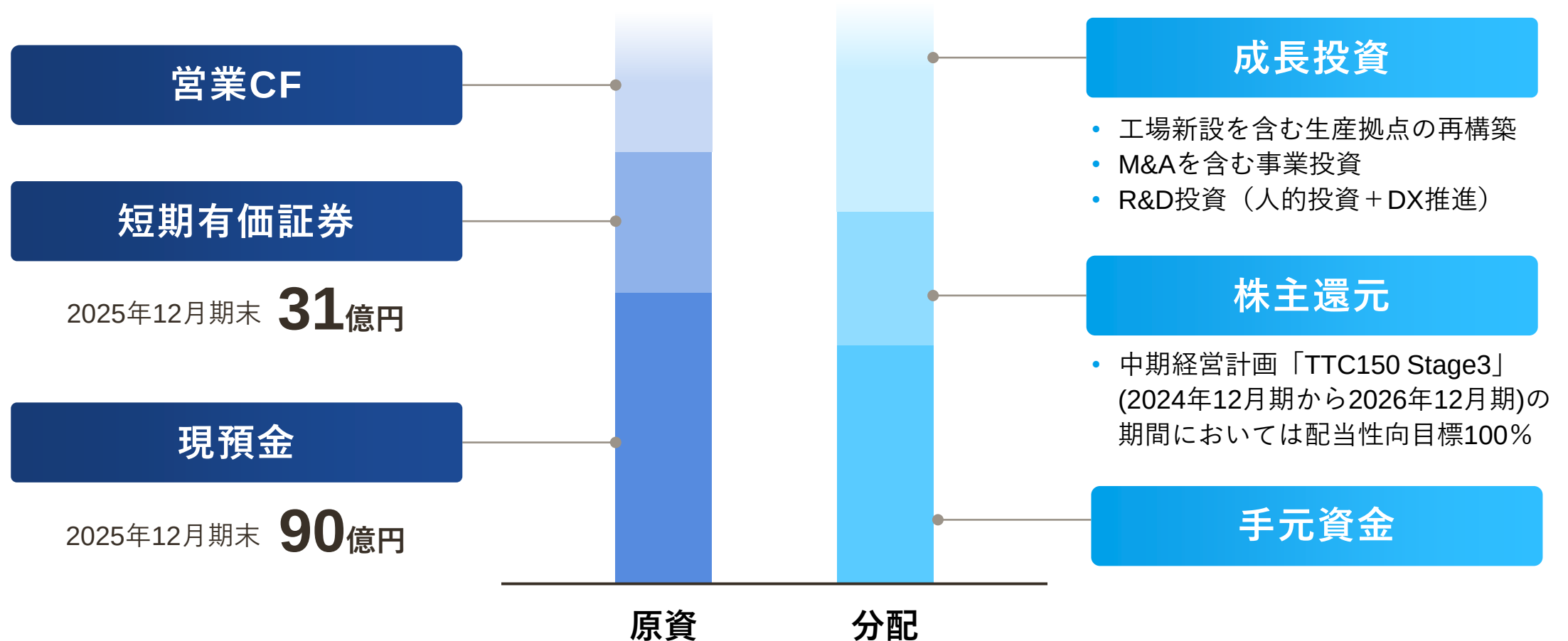
● 連結売上高の推移



● 連結営業利益の推移



キャッシュアロケーション (2024～2026年計画)



資本効率を意識した経営の実践

1 中期経営計画の 着実な遂行

- ・ 収益力の向上
- ・ 成長分野への積極投資
(高付加価値な食品事業)

2 配当政策の見直し

- ・ 中期経営計画「TTC150Stage3」
(2024年12月期から2026年12月期)の
期間においては配当性向目標100%

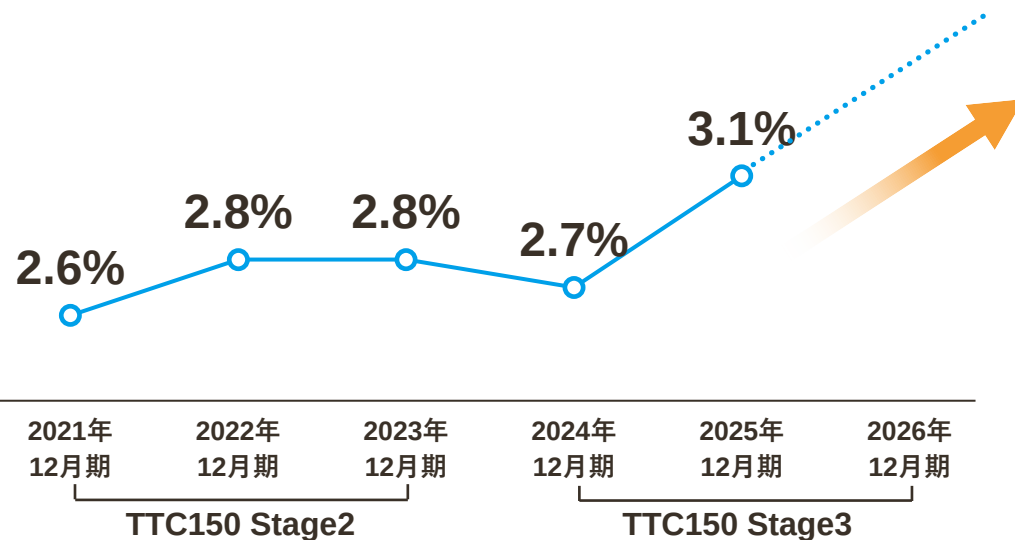
3 資産効率の向上

- ・ 自己株式取得の検討
- ・ 政策保有株式の見直し

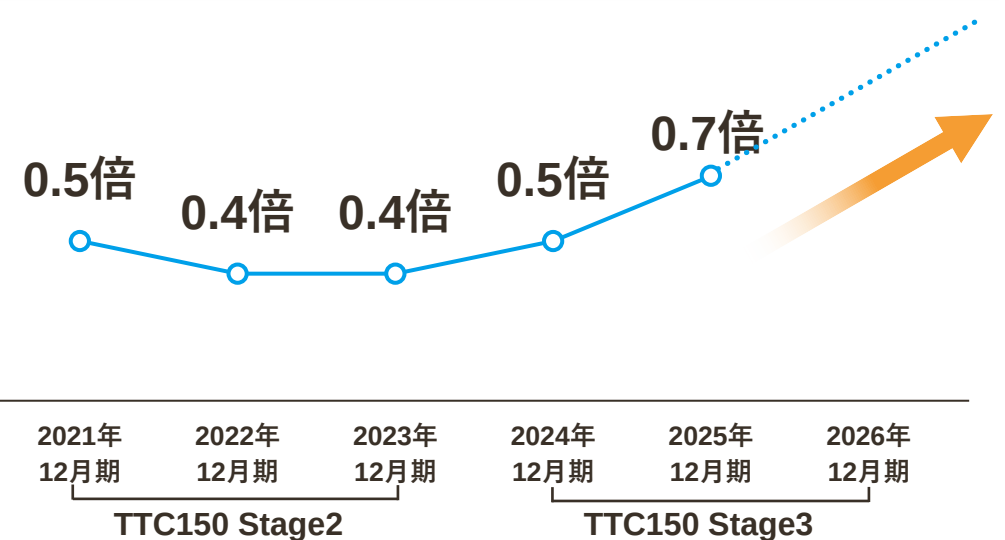
4 IR活動の強化

- ・ 会社説明会を新規開催
- ・ 外部のIRイベントへ参加
- ・ 株主や投資家との対話を活発化

ROEを向上



PBRを改善





INDEX 目次

01 会社概要

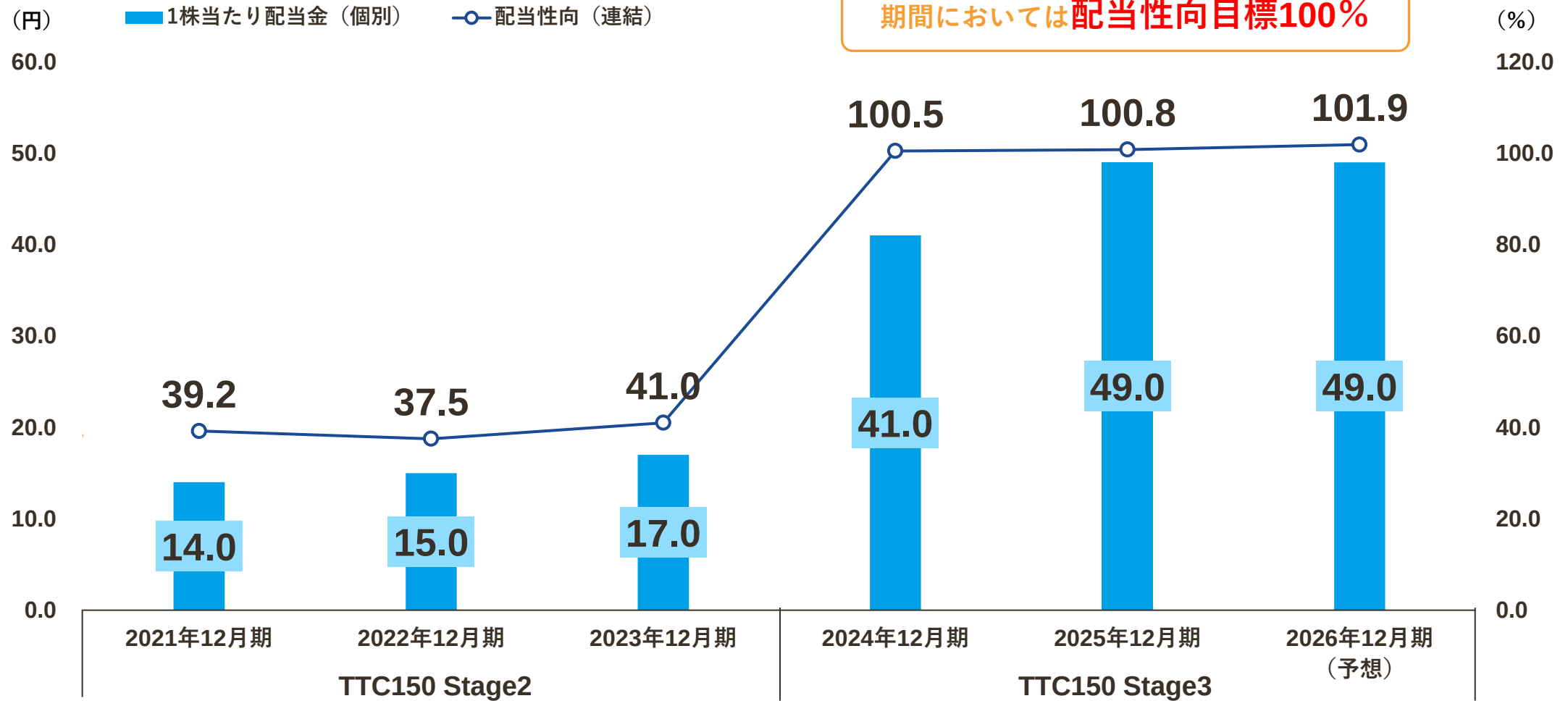
02 事業紹介

03 中期経営計画

04 資本コストや株価を意識した経営

05 株主還元

株主還元（1/2 配当）



株主還元（2/2 株主優待）

優待内容

従来の株主優待品



当社の小麦粉を使用した特製「そうめん」1箱
(非売品・4,000円相当)

保有株式数

500株（5単位）以上継続
保有年数

なし

+

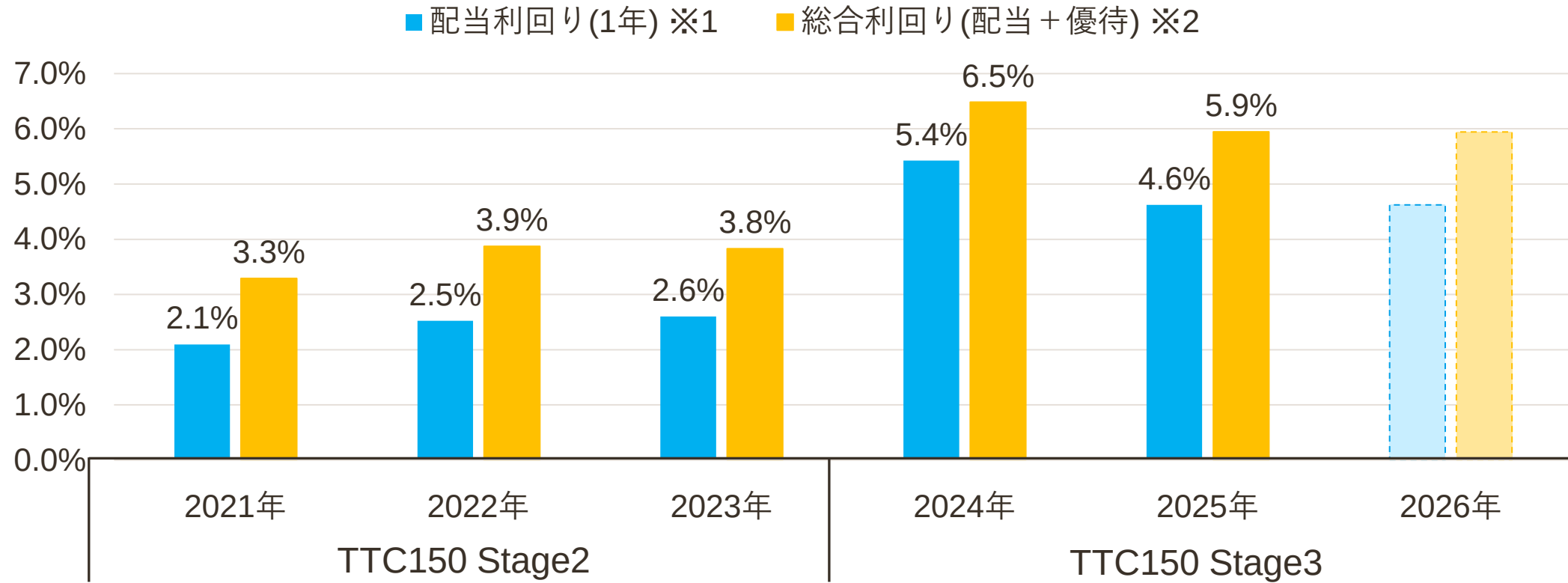
2025年から追加



当社の小麦粉を使用した「久留米ラーメン」1箱
(非売品・3,000円相当)

500株（5単位）以上**3年以上**

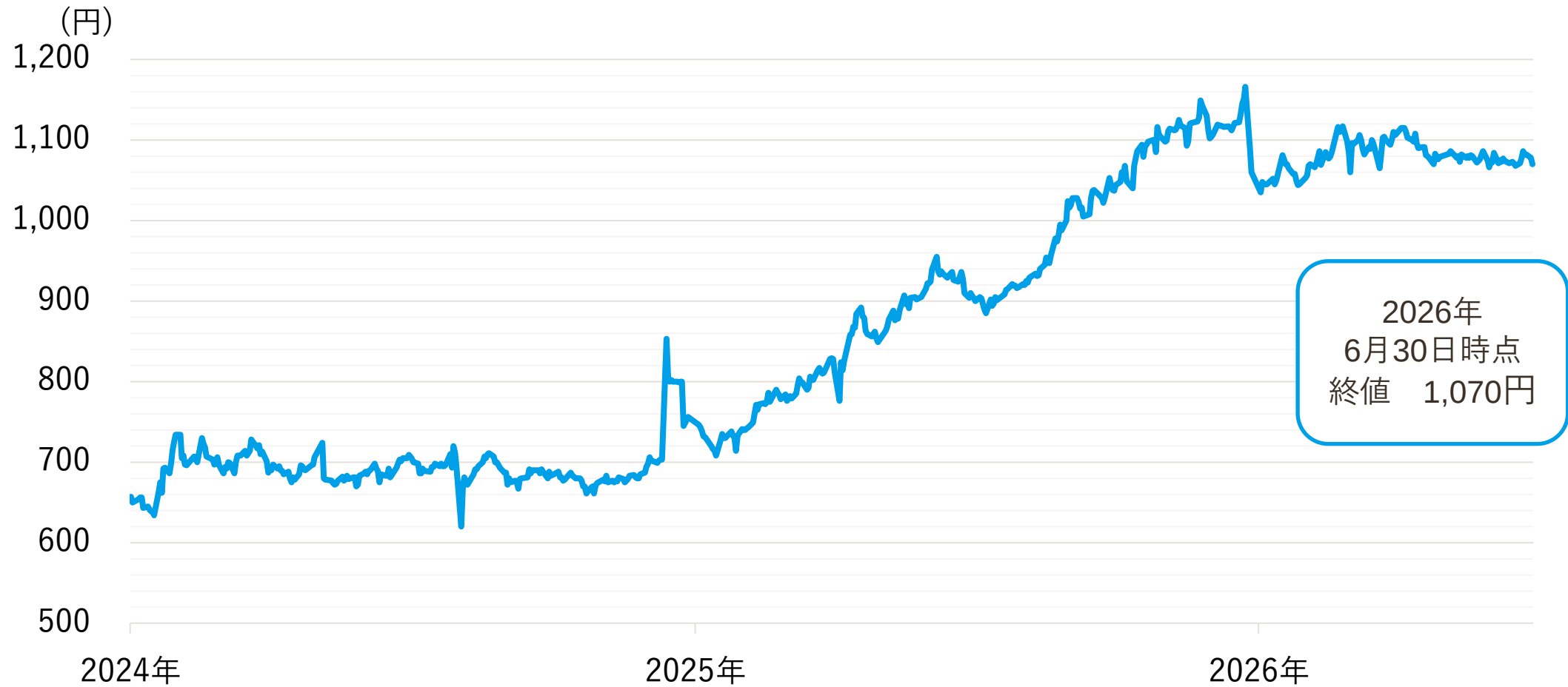
(ご参考)配当利回りの推移



※1. 配当利回りは12月末の終値で算出しています。

※2. 総合利回り(配当 + 優待)は、500株(5単位)以上を
3年以上保有していた場合の利回りです。

(ご参考)株価の推移



A large rectangular area with rounded corners, outlined in blue, containing ten horizontal dashed lines for writing.



さらにおいしく、健やかに。

eat better, live better

本資料に記載されている業績予想などの将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は、業況の変化等により、本資料の予想数値と異なる場合があります。